

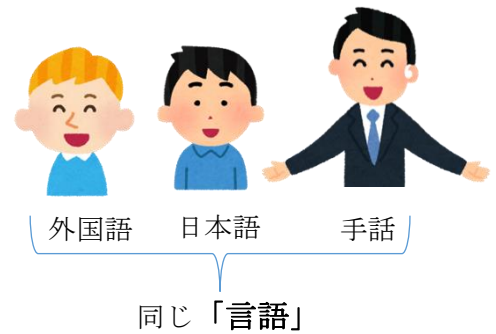
手話通訳派遣について

「手話通訳って」ってなに？

「手話」は言語です。

手話通訳は、人と人とのコミュニケーション保障を行い、聴覚障害者の自立や社会参加を支えていくことが目的です。

通訳現場においては、個人情報や企業機密・プライバシーに関することを知ることになるため、手話通訳者には高い倫理観と守秘義務の厳守とともに、幅広い知識・通訳技術が求められます。



手話通訳者には守秘義務があります。

○依頼を受けたら準備します。

事前に資料を読んだり、調べたり、行く時間・場所・その場にふさわしい服装などを考慮して準備します。

○長時間の通訳は、複数人数派遣します。

手話通訳者にとって、違う音声言語(日本語)と手話を正しく伝達することは、大きな負担を要します。そのため、長時間通訳が必要な場面では複数人数で担当します。15分~20分間隔で通訳者の交代をして情報保障を行う場合もあります。



○情報保障しやすい環境を整えることも大切です。

例えば…

- スクリーンと手話通訳者、話し手が離れすぎないようにする。
- 会場を暗くする時は、手話通訳者が見えるようにスポットライト等をあてる。
- グループ討議時は、手を挙げてから発言する。

